

様式 A-1
(FY2018)

平成31年 3月 1日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 山梨県立日川高等学校 広瀬さやか
2. 講師氏名: Dr. Sarthak M. PATHAK
3. 講義補助者氏名: 無し (川田桃子氏、急用によりキャンセル)
4. 実施日時: 平成31年 2月 21日 (木) 14:00 ~ 15:40
5. 参加生徒: 1年生 40人、 2年生 35人、 ___年生 ___人 (合計 ___人)
備考: (例:理数科の生徒) SSH クラス所属の生徒
6. 講義題目: 360 Degree Disaster Sensing
7. 講義概要: 先生の自己紹介、出身国の紹介、所属研究室の紹介、研究動機と内容について
8. 講義形式:
 - 1) 講義時間 60 分 質疑応答時間 30 分
 - 2) 講義方法 (例:プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
Microsoft パワーポイントによる講義、動画視聴、全天球カメラの実演あり
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 講師より送付されたドラフトを元にワークシートを作成して使用
9. その他特筆すべき事項:

様式 A-4
(FY2018)

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(SSH 事業の一環として)

2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
 - 1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
 - 2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()打ち合わせ内容を教えてください。
(事前学習のための講義内容や情報の聞き取り、講師の先生が必要とする機材や要望の聞き取り)

3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。

4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。

5. 事前学習は行いましたか？
 行った(具体的な内容: 講義の流れ、研究の概要、キーワード)
 行わなかった

6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
(生徒へのアンケートからも、科学的探究心に大いに刺激を受けたと思います。母語以外の言語を用いて研究するということの困難さと可能性に気付き、英語理解へのモチベーションもまた高まりました。)

7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
 良かった 普通 良くなかった

良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。
(講師の先生の日本語が非常にお上手だったので、生徒らが躊躇いなく質問できた反面、英語に触れる機会は減ってしまい、悩ましいところがありました。動画や実物を使ったデモンストレーションなど、理解しやすい工夫を多く織り込んでいただいたので、生徒らが集中力を切らさずに講義を受けきることができた点はとてもよかったです。)

8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
()

9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない

*ご協力ありがとうございました。